

基下電子部品(株)高岡波部品事業部仕様 整理番号 <b>K-3014 A</b>	仕様書 イレット(無極) <b>AC-M03</b>	承認 1999.12.15 1999.12.14 1999.12.14 石原 奇藤 長田
--	----------------------------------	--

1. 一般事項

1-1 適用範囲 この仕様書は、民生機器及び産業機器に用いる、インレットに適用する。

1-2 使用温度範囲 -20~100℃

1-3 標準試験状態 常温(5~35℃)、常温(45~85%RH)、常気圧(860~1060hPa) 但し、判定に疑義を生じた場合、20±2℃、60~70%RH、860~1060hPaにて行う。

1-4 保存温度範囲 -40~100℃(5~95%RH)

2. 外観・構造 実用上有害な割れ、損傷等無きこと。形状は外形図面による。

3. 使用部材

部番	部品名	材質	処理	備考
1	基板	FRP		UL94V-0
2・3	端子	銅合金	t=0.3mm	銅メッキ

4. 規格・定格


規格	定格	承認番号
U L C S A	AC250V 2.5A	E101143
V D S S B M P O		LR36155
CCC	同上	2009010204359214

5. 電気的性質

No.	項目	条件	判定基準
5-1	接触抵抗	適合プラグを用い、プラグ・インレット端子間、4端子測定法にてDC100mA印加。 使用測定機: HIKI製3226310-1A1750	30mΩ以下 但し、導体抵抗含まず。
5-2	絶縁抵抗	インレット端子相互間、DC 500V印加にて測定	300MΩ以上
5-3	耐電圧	インレット端子相互間、端子・取付板間にAC2000V 1分間印加。	異常無きこと。
5-4	温度上昇	インレット端子に定格AC125V 7Aを2時間通電後速やかに測定する。	30K以下のこと。

6. 機械的性質

No.	項目	条件	判定基準
6-1	半田付け性	半田温度: 230±5℃、浸漬時間: 3±0.5秒間 (フラックス浸漬は、常温で5~10秒間) ルガ JISH4341の63A又は60Aフラックス P57(JISK5902)のタイプ(JISK1501)溶液。(濃度: P57/25%タイプ75%)又は、タムラ化研製K411相当。	浸漬した部分の75%以上が、半田で覆われ、はんだぬれ性が良好なこと。
6-2	半田耐熱性	半田温度: 260±10℃、浸漬時間: 10±0.5秒間 ルガ付端子部に入り赤ルガ(Sn60%,フラックス2.5%)を0.16gあて、ルガごと(40V, ごと先温度320℃)にて5秒間加熱する。	実用上問題の無いこと。
6-3	ピン強度	ピンに60N(6.12kgf)の静荷重をP1・P2方向に5秒間加える。	ピンの脱落、折れ等の実使用上有害なる損傷のなきこと。
6-4	端子強度	端子部に9.8N(1kgf)の静荷重を5秒間加える。	ピンの脱落、折れ等の実使用上有害なる損傷のなきこと。但し、曲がりは可とする。
6-5	ネジ締め付け強度	適合シャーシに(t=0.8mm)に取付け、呼び寸法 M3mm L=8mmのPタイプネジにて1.17N・m(12kgf・cm)締め付けトルクを5秒間加え、10回くり返す。	取付部に割れ等の異常なきこと。又ネジが脱落なきこと。

6-6	こじり強度 (インレット)	インレット部に適合プラグを嵌合し、右図の如くX, Y方向に MAX0.49N・m(5kgf・cm)のトルクを往復3回加える。		実使用上有害なる損傷のなきこと。
-----	---------------	--	--	------------------

7. 信頼性

No.	項目	条件	判定基準
7-1	耐寒性	-40±3℃にて1000時間試験後、常温常温中に取り出し、30分間放置後、1時間以内に測定 (但し、水滴は取り除くものとする)	5項を満足すること。 抜去力: 13.32~53.9N
7-2	耐熱性	100±2℃にて1000時間試験後、常温常温中に取り出し、30分間放置後、1時間以内に測定	
7-3	耐湿性	60±1℃、91~95%RHにて1000時間試験後、常温常温中に取りだし、30分間放置後、1時間以内に測定 (但し、水滴は取り除くものとする)	
7-4	温度サイクル	-40±2℃/100±2℃を各1時間で1サイクルとし、200サイクル後、常温常温中に取り出し、30分間放置後、1時間以内に測定	
7-5	抜去寿命試験	インレット部に対してIEC規格準拠品のプラグを使用し、100回抜き差しを行う。	実使用上有害なる損傷のなきこと
7-6	高温過負荷寿命試験	AC 125V 7.5A 通電状態にて、45±2℃の槽中へ1000時間放置後常温常温中に30分放置し測定する。	5項を満足すること。 抜去力: 13.32~53.9N
7-7	過中過負荷寿命試験	AC 125V 7.5A 通電状態にて60±2℃ 90~95%RH槽中へ1000時間放置後常温常温中に30分放置し測定する。	
7-8	常温過負荷寿命試験	常温にて AC 125V 7.5A を1000時間通電する。	
7-9	導電膜試験	JIS C0023に基づき5%の塩霧中に96時間放置後、水洗いし常温常温中に30分放置し測定する。	接触抵抗: 100mΩ以下
7-10	耐アモブ試験	CES M0010-4(金属防食試験) A法により、槽内に8時間放置後、常温常温中に30分放置後測定する	5項を満足すること。 抜去力: 13.32~53.9N 端子、基台にクラック等の異常が無いこと。

8. 注意事項 測定に使用するインレット用適合プラグは、川崎電線製 KS-15C 相当です。本品に、有機溶剤又は油類等の付着は避けてください。

9. 安全上の取守事項

①フラックス防止剤の御使用について  
本品の成形部に有機溶剤であるフラックス防止剤が付着しますとその部分にクラック発生恐れがあります。フラックス防止剤メーカーと御相談ください。

②油類系コーティング付きタッピンネジの使用禁止。  
本品を油類系コーティング付きタッピンで固定しますとタッピンネジ穴部に、クラックが発生します。油類系コーティング無しのタッピンネジを御使用ください。

2015-20  
確認章

CCC 2-2 16カ		
VDE, SEMKO 4ヶ		
承認番号限記入訂正: E48898 → E101143	'99/12/14	長田
限記入訂正: "プラグ" 削除	'99/12/14	長田
限記入訂正: ムラタ → タムラ	'99/12/14	長田
捺印欄の変更: 捺印 → 審査	'99/12/14	長田
"6-3" 条件変更: 49N → 60N	'99/09/16	長田
限記入の訂正: ハンダ → 銅	'99/09/07	石原
記号	表	日付 氏名

仕様図  
11.5.18  
技術部

仕様書 イレット(無極) <b>AC-M03</b>	基下電子部品(株)高岡波部品事業部仕様 整理番号 <b>K-3014 A</b>
----------------------------------	--